

# 蓬萊小学校創立50周年記念号

令和5年2月発行

## 五〇周年記念式典



児童代表で作文を読み上げる八巻圭佑さん

令和四年十月二十九日に記念式典が執り行われました。

「声だせ汗かけ、元気だせ」これは蓬萊小学校のスローガンとして掲げられてきました。

昨今のコロナ禍により声をだすどころか、ここ数年は全校生徒で体育館に集まることもできませんでした。しかし当日は一堂に会し五〇周年を無事迎えられることをお祝いしました。ピアノの伴奏に合わせ、久しぶりの校歌斉唱では元気のよい歌声が体育館に響きま

半世紀にわたり、様々な出来事を教育とともに歩み続けてこられたのも、蓬萊小学校に携わる地域の皆様のおかげです。現在、蓬萊小学校は二〇八名の児童が在籍しており創立一〇〇周年へ向け新たな歩みを始めます。



映像を真剣に見つめる子どもたち



小澤喜仁実行委員長が、子どもたちに蓬萊小学校50年の歩みを話してくれました。時々、驚きの声があがり、新しいことを知る子どもたちの顔は、とても輝いていました。

子どもたちに蓬萊小学校の歴史と歩みを広く知らせるため、学校建設時までのさかのぼり、子どもたちの入学式までをプロジェクターによるスライドショーにて上映しました。



全校生徒による校歌斉唱

## 分離記念碑

ここに一つの記念碑があります。この記念碑はもともと阿武隈山地から産した一つの御影石で、真ん中から二つに分け一つは蓬萊小学校の校門入ってすぐ左側に、もう一つは蓬萊東小学校に建てられました。昭和五十七年、蓬萊小学校の児童数が県内に一となり、分離され蓬萊東小学校に約七〇〇人の児童が移ることになりました。分離により、学びなれた校舎を離れ、新しい友人、先生方との別れを惜しみ、お別れ会も開かれました。そして同じ蓬萊地区でこれからも、肩を並べ進んでいこうと、蓬萊小学校父母と教師の会より贈られました。



## 祝 蓬萊小学校創立50周年おめでとう

令和4年度 福島市立蓬萊小学校 父母と教師の会



五〇周年 実行委員長 小澤 喜仁

福島市立蓬萊小学校が創立された昭和四十八年（一九七三年）は、蓬萊地区に大規模な都市型団地の造成が始まりました。蓬萊小で学んだ子どもたちは、地域ばかりでなく我が国の経済や社会、文化的な発展とともに、国際社会や地球環境の変化も受けながら成長していきました。

この五〇年の間に蓬萊小の卒業生は五百二十三人を数えます。スポーツ選手や科学者、経営者など社会で活躍する先輩もおり、蓬萊小の輝かしい伝統と文化は、学びのなかで夢に向かう努力により成り立っています。

「ゆめ育て、心に花さかそう」という言葉が児童に贈られた記念品に掲げられています。児童の皆さんには、自分の夢をたいてついに、学びや遊びのなかで自ら考え挑戦してほしいと願っています。保護者も、先生も、卒業した先輩や地域のみなさんも皆で力を合わせて、この挑戦を応援していくことが求められます。

未来を担う児童の活躍に大きなエールを送るとともに、保護者の皆さま、先生が、地域の皆さまの一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

## 五〇周年実行副委員長

只野 勝久

私が子どものころは、テレビもおいそれと買えるものではありませんでした。沼川、田山で生き物を探ったり、木の葉を採って食べた、木の実などを使ったおもちゃ作りが私たちの遊びでした。

現在、私は蓬萊小学校の特別非常勤講師として、一年生と二年生の生活科の授業に携わっています。子どもたちとの関わりを通して、私が子どものころにしていた、自然とふれあう楽しさを伝えたいと思っています。SDGsが叫ばれ、今後ますます自然を大切にするこの重要性が注目されることでしょう。これからも自然とのふれあいに楽しみがもてる子どもたちの育成に関与して参ります。

## 五〇周年実行副委員長

加藤 一位

蓬萊小学校を四十九年前（第二期卒業）に卒業し息子達も同じ学舎で育ちました。息子の入学時にPTA役員となった事で再び小学校と繋がりができ、以来地域の会議等に参加させて頂きながら、現在は交通対策協議会支部長、自治振興協議会会長に就任しております。地域の行事等を通して、未来を担う子どもたち、その御家族の方々からの貴重なお声を聞きながら、住み良い地域づくりのために活動して参ります。

## 編集後記

記念すべき五〇周年事業に携わることができたこと大変嬉しく思います。本紙を通し蓬萊小学校の歴史と伝統が少しでも多くの方に伝われば幸いです。ご協力いただいた先生方、保護者の皆様、本当にありがとうございます。

## 五〇周年実行委員会

- 小澤喜仁 只野勝久 加藤一位 石井隆博
- 林文子 渡邊圭司 川村浩昭 加藤幸恵
- 阿部努 古住絵美 千葉薫 稲熊美幸
- 菅野真理 丹治広美 佐藤千佳子 石井忍
- 丹治三恵子 三浦京子 丹治智枝 加藤祥子

## 卒業生からのメッセージ

氏家 美加（平成14年度卒）

小学生のころ、中庭で遊ぶのが好きでした。みんなも中庭に行くとみんな生き物や草花が見つかるのが探してみても

佐藤 枝里香（平成11年度卒）

私が6年生の運動会の時、雨の中カッパを着て参加しました。騎馬戦も観まてとろんこになって、みんなで大笑いした思い出があります。

丹治 宣征（昭和58年度卒）

給食で好きだったメニューはカレーです。当時はご飯ではなくソフトめんやハンと一緒にご飯を食べてました。おいしかったです。

樋口 健（平成2年度卒）

空弁について、給食がご飯の目には何も入っていないお弁当を持って行き当番の人にご飯をよそってもらいました。給食のメニューはソフトめんとフルーツヨーグルトの時が楽しかったです。

丹治 健太（平成17年度卒）

当時はミニバスを頑張っていました。小学校低学年では、自分で作ったメニューなどが流行っていました。高学年になるとみんな好きなスポーツを楽しくやっていました。ミニバスは3年ぶりくらいに県大会出場を決めた記憶があります。

茶谷 春奈（平成12年度卒）

蓬萊町には、たくさん公園があります。小学生のころは、その日の気分で色々な公園で遊びました。そんな蓬萊が大好きです。

千葉 陽樹（令和2年度卒）

放送委員会の仕事で、コロナで大変な時に自分たちの放送を聞いてもらえて、みんなの力になれたと自信が持てました。

阿部 努（昭和60年度卒）

防災盾に指を挟んで救急車で運ばれてニュースになった事もいい思い出です。チャレンジ精神を忘れずに！！

斎藤 勉（昭和56年度卒）

私が小6の時は、全校生徒が45学級で1,731人でした。福島県で1番のマンモス校になった為、蓬萊小の分離が決まりました（今の東小）。体育館の床もコンクリートでとてもすべりやすく危険でした。当時、今のいちいほほうりんショッピングセンターという3階建てで、おもちゃ屋、雑貨、レコード店、魚屋、八百屋、飲食店、色々あって屋上にはゴーカートやゲームセンターがありました。通園地のように、時々芸能人も来て、イベントを行うほどで、私にとっては思い出のあるショッピングセンターでした。